

当別町ふるさと納税事業について

平成20年9月から始まったふるさと納税制度を活用して、当別町出身の方をはじめ、当別を応援したいという皆様より、心のこもった多くのご寄附いただいております。

皆様からいただいた寄附金は、地域ブランドづくりを含めた当別町のPRや、基幹産業である農業をPRするための販売促進事業など、個性豊かなまちづくりを推進するための各種事業に活用しています。

ふるさと納税を活用した取り組み(平成 25 年度)

軽トラ・マーケットなど札幌市内農産物直売事業

農家が普段使用している軽トラックに、新鮮野菜を積み込み販売するスタイルである「とうべつ軽トラ・マーケット」を平成20年度から継続的に開催しています。札幌市厚別区において大規模に開催するほか、当別町内においても農家の皆さんが消費者と直接触れ合いながら、野菜や加工品、とうべつBrandeli'を販売しています。

札幌市の近くで新鮮な野菜を買うことができる、農業のまちとしての当別町を、これからも積極的にPRしていきます。



とうべつ軽トラ・マーケット(平成 25 年度)

平成25年8月25日(日) 札幌市厚別区「ふるれあい広場あつべつ」
平成25年9月29日(日) 当別町樺戸町コンビニエンスストア敷地

軽トラック17台
軽トラック 6台

当別イメージアップ戦略事業



札幌駅前通地下歩行空間での当別町PRイベントの様子



新しい当別町ホームページ



モニターツアーのようす

当別町の認知度・イメージアップを図るため、札幌駅前地下歩行空間において3日間のプロモーションイベントを実施しました。プロモーション動画の放映や農産加工品「とうべつBrandeli'」認証商品やスウェーデンガラス・雑貨などの販売、キャラクターを用いたBOXティッシュも作成しました。(平成25年12月17日、平成26年1月17日、1月31日実施)

さらに、札幌圏域を運行するJRの中吊り広告で1車両独占での当別町のPRポスターの掲載。「スマクラ北海道」「札幌100マイル」などといったブログでの町の魅力を発信。旅行会社、出版社、ブローガーなどを対象とした当別町モニターツアーの開催など、近隣市町村のみならず道外への情報発信も行いました。

また、ホームページのリニューアルを行うことで、より分かりやすく見やすいページ構成とし、多くの情報を発信できるようになりました。(平成26年3月27日～)

北海道医療大学との連携によるブランド商品開発

北海道医療大学と連携して、当別町の地元農産物を活用したオリジナルブランドの加工品の開発に取り組んでいます。

平成25年度は、当別町の主力農産品である米を使った「玄米リゾット」の開発・検討を行い、パッケージ化までの一定の成果を得ることができました。また、商品の保存性に優れたレトルト化を実現できたことで、防災備蓄としての活用可能性も見えてきたところです。

平成26年度は、当別町の新鮮な農産物と北海道医療大学という名称から連想される健康のイメージを最大限活用した商品となるよう、さらなる検討を進めています。



完成した試作品(玄米リゾット)

ふるさと納税寄附者に対する記念品の贈呈



町外在住で1万円以上のふるさと納税(寄附)をいただいた方々に、記念品として当別町産の農産物や農産加工品をお送りして、ふるさと当別の秋の味覚を楽しんでいただきます。

当別町の農業をPRする絶好の機会として、厳選された農産物を贈る取り組みは好評で、平成21年度の取り組み開始以降、ふるさと納税寄附者は年々増加しています。

平成24年4月から平成25年3月までの実績 175件 83,843,000円